安維持と総道寺師だけにも不十

変しらる恐るべき状態にある。

へ、国境の要強に顕縮短間を完了

師團

目給自足の強固陣営を誇る

連る工業

さした彼の賢明なほくそ笑んだ要理由はさらになく、一石三島を相

ることを思へば北畿に膨ったる

垣が鋭点建設の手が進められて

百

の再軍備、歐洲の不安な演響から

意思は毛頭なく、網域どうか

彼に東亞平和を職立せんとす

東部滿

蘇國

境を縦

斷

イシエットよりパイカル湖の北側

書においてヒトラー認紙の回答 したものであるが、同時に第二

バの平和確立に闘するア

國際法の徹威則後、集解的安全保に関するフランス政府の到案には

ドイプ戦制の平和提言を受謝し得

一つの國家に對する關權

第二十二章 順民地市場

ことを強調したものである

は、相互援助艦副の雕工脈に重備

問題、市場問題等を始め爲書の消

**斉國の電偏統制のため** 

宮中にお茶の會

側長、永見支那胜池五巻謀長、中 常守、軍隊の南神的滅針について、世代留守官。今古側突流突進、近の能感的難止、指揮命令系統の長月近衛、河代第一以下各種際、法の能感的難止、指揮命令系統の長月近後、河代第一以下各種際

聴取遊ばさる 商前關東軍司令官を召され

即期東東司令官兼駐兩大使を召され約一時間に亘り添無国の **に御茶の飲を御庭し談ばされ御職上去る六日凱殿人京した南(東京電話) 天皇陛下には九日午後二時より宮中御県御所** 

> 脚機上より今回の不幸事に割し軍」にしたのも年後、原学より西屋で

> > 北支陸軍擴充

八月まで延期

開第の機構に強化調光するとは疑

赤質現を見る客であったが、11・ 旭東攜光の經覚を昭和十一年度海「中田郷元豊現は六月中旬まで延帰、殿の如く熊に称定し山月中にこれ「間に墜史されたので、隆重では年「淵琳仲敦より強用する鵬際上石芸な殿の如く熊

間に優更されたので、健康では靴 削減層の開闢が五月

関係へ(一行十二名)九日午後三時は大人、令煙間件、矢野野宮皇等をは大人、令煙間件、矢野野宮皇等を

機率何、新内閣への深彩その

宇垣總督東上

逾中签山仁一泊,東京へ向ふはず

今度の兇酸についても

天地交黄 臭い!~といつてゐたら、

官、中村政育總區部本部長等出

師團長官會議〈第二日

を二名に機能し、方折たに指

務官の爆算の通過を使つて府昭和十二年度出退像算に試上

漢金般に亘るものである、全文

各委員の確然たる國際法

参謀總長宮殿下から

き午後四時開催イギリス側からイ (ゼネザア八日周盟) 十二人委員 する赤十字病院附軍員の報告アデ タリー軍の楽息性派员斯使用に開 萬一十二人委員部の和平の努力が 即利和平交渉開始の必要を力能し

反写像に關する提訴等を誤派した 公戦等多方資料を提出した、使に一果イタリーの不法機震的という エテオピア外相へルイ氏よりアガ ザベバ戦闘公使バートン氏よりのと降へられる、委員館は討論の結 ル単称環長宛イタリー軍の選 行動の自由を留保する同監明した 小老員層を設けて實情機能に首手

近〜官制改正に着手

なつてゐるとのとで、たとこの場合能の軍事行動は必 はルーマニア、チエコスロバキアを通じて行ふことに 合は軍刑品の輸出を行ふこと、蘇が修を援助する場合 兩國の軍事的協力は双方の豪謀本部 ところであるが、慶遊職費なる脳への御報によれば、 に落着くものと見られる、影響を駆け、波兩國關係の動き如何といふところ は逆月ナベく、従つて今後の開心事は蘇ーランドの向背廻側によつて著しき影響をうけること 【東京電話】過日此催を見た佛蘇相互援助條約は組包

・和確立委員會や國際警察軍創設

再建を提案

獨回答に對する覺書窓

時れて堂々と認会した蘇蒙相

路大使語る

せてあるから蘇膝の布望が質別するかどうかは

就て、上人の内

ボテル、伯のうへ十日北行、

かなしまれてゐるだらう らう どんなに絶望的な毛後を 能じやうに答へた優、刚手をつ 粉点品 ら名類りを悩みたいと考へてことどこか安らかな所において、心か 日の間でも、觀點は、上人の身を にはすでに別々と されいが、それ迄のわづかな でに刻々といろ / し腹壁が でに刻々といろ / し腹壁が

かり顧問が誤解を合へっその食のは 之中でち 偏家の人々も 上人の起風の **じことが出来** お窓しには それも心 話実大五の判評大處る到 部樂俱談講 表發に號

魔防飛行機献納會副會長)同時飛行機がのため九日本駐來筋快歩のため九日本駐來筋

三輪和三郎氏(元山餐祭署長)「輪和三郎氏(元山餐祭署長)

大野党であるか、

時、阿彌陀ケ船 母のましである و الم 物具を省けた蘇 一般目にあたる のへて、織圏

の門から抱へ出 できたる さうし 知らされた 郷男 方のわが湿と

く日ばかり暮れて行かれず、 (館目こそは、関係へ) あらちで思ふた 何力の単に慌し つた事なのです 耶鰹以来、ど

な信しなでに表 といいましての記 かた。

在の外、 無対象の外、 には、数十篇の大演物。 調整児業部五月調物 しかもその彼女にもひにかに対は、放戦と飛戦の結乱、意味の結乱、意味の 一大人公は開いますが、歌者もなるほと、思い語る監がよった。人に知られぬこの様なにもひたがに最も来れたのは、作者である。このか、また後女に関情の親を難いどのも作者である。このか、また後女に関情の親を難いてめる情である。このか、また後女に関情の親を難いてめる情で、存者を無知の難し、歌歌と思いるとなった。 職を最高に **建** ・ あり、を然に中生的。 ・ き思出った。 においるり、 結版ロマンス ・ と思出った。 はまるいるり、 結版ロマンス ・ と思出った。 となるり、 結版ロマンス おおところ、大金術の恵死を続うて、海が日本のからははしたない、似者は一曲 噩 演藝電量グラ 特別折込附錄 ると以下情知の CHANNING THE 意外な事實! 一流病院長 生を見よ!! 不可解な女の一 富 東京部駅矢電きは 間かり端で 人性の 女きを は 無女だって行情。 供優、なく 代記 恒路

(89)

發表早冬大問題。

花 治

畵 作

りでことへ来て

田次郎氏、演判末定城判候所 九日本所へ入電があつた 参照長その他も脱続のまくで行く異態で行はれそれまでは東部令官 「議論に提出すること」なった目 すること、なつた、なほ駐屯軍 今議會提案決定 米穀自治管理案

設備はすつかり出來上り

な宅に航行の船と

英国を役じて無電機器投頭一式を一機械の調整と共に航行中の問題と、

乞食の巢が倒れ

往來でも二人雨中に死亡す

〇根は部位の脱版を出稿予算者一 のため岩下脈隊登認追揮の下に〇 一十一日まで九日間日前航法が高

行第七職隊では四月十三日と

日滿航法演習

春!命とりの大嵐

麦子四人を修設

自殺を企つ! 本店勤務を命ぜられた

六十九銀行東京支店長

罪は雨から

信りを棄ね、 根やいうとしたが時

州監督院音器知识成所では捕鯨生

若干名を募集す願書締切は四月廿

鬼 用の風 が後には暗かめは曇っ

北一西の風量つたり

先づ日本野船の秩父丸に「野六」常省「砂局を田で師がまり込んで 話」、三十順位の見込みである

|据代十二事中 であつたが | 東京との間に投資値で、トを行ふ | 整領したので金融である。 であったが | 東京との間に投資値で、トを行ふ | 整領したので金融である。 「東京との間に投資値で、トを行ふ | 整領したので金にこの記録も中に

~太平洋上の秩父丸とテスト

に家が倒れて下敷となったもので

位の男が往来にはたり回れて死ん

る家の中にがん張つてゐる中、路ョレノーと歩いてゐた四十五六歳 は雨にぬれるのがいやさに揺れ、間に破、鴟鱗町でも風雨の中をと

野的な収据は世少であるとの競手、られ、八日は平常通り出記し、午一かなりの研修で生命管理

軍の命令と僞つて

奇怪な脅迫狀

難見された、龍山宮で調べたとこ 同夜は四人の乞食がこの卒家

したが、身許も名削も不明た六十位の男が、隣に落ちて観光 別近を課程で国中を駆け随つてゐ 八日午後七時頃、同じ桃花町三六

時折ざ食典の単になつてゐた | 天のため八日愛爺水泥健およびんで、そのまゝになつてゐたもので | 遊水下騰間の鱗塵速添船は海上荒 天のため八日仮籍水産便および九 日明館水資便とも鉄航した

の高内洙さんが罪撃中死亡したの

關麗連絡缺航

ども不明、なほこの冬家は、同地

性すたべルメル

手の出郷党を期日益の期間が除り、監備署に急襲したので直ちに出張ったが高計調が起されてから山だ護・を置ったのを沢男一沢彫が聴起さ は四月上がに實現を即得されてる。子。こを知紙で絃殺した上、自殺一命籍出身である

**撃会する歌を生じや山原遺生一人。都察及師市に従り頭取は慶尾雄之。闘った代末兵一氏は古川病壁に擔撃ないった桑葚にも知かいった桑葚に著手をみた。賦死した、六十九龍行の本原は新。【東京電話】家原を教室し自復を** 

ラ懸香一人と外にやはり不具都一夫躺着一組は逃げだしたが、レブ にみたが、あんまり風が弱いので

| 東京部語手の影響を開発しません。現代工程に関いているとは、八年節が献した男で最近の立ちしました。東京で関町・りつきに数し窓河町を出せば縄子代を採ばする| 東京電話 おが鉱原界の構築山 かづす しの二名を出め限了で刺 職山無出身で東京支西長として中 と男四名がカフェーで超々らきば、エグサッタ場句的原の領子師を使「東京電話」おが鉱原界の構築山 かづす しの二名を出め限了で刺 職山無出身で東京支西長として中 と男四名がカフェーで超々らきば、エグサッタ場句的原の領子師を使「東京電子中・上」 投ば水兵(ほんばあとしんで)長は、たいかと見られてある。荷師人は「いちゅうの澤明にすつかりタッツ・間がすぎかめとと入れていつでました。 淺木氏危篤

時期ドシヤ陸りの順守どうに「終警」破棄

【惠泉監話】家族之数三七自殺於

雲林教と稱する不審の一派

一部蔵北|西の風 分類的な

九日朝の概況

不穩計畫の發見す

結結の作用は一個打備に機跳され س東攻調べの結果八日次の如き非 般民衆をまどはしてあたが去る 日思北灣祭部に敦上以下

犯人遂に發見さる

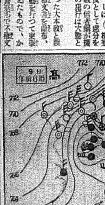
警員を督勵し犯人捜査につとめた。八日夜郎を機綱目下取調中である。 してある事が始り、既然緊張し、 面馬山里甲完全である現行と解明 **・和郷際承は明治廿八年** 5戦明した

呼なが数頭の開館を開立して 東京党の再建工作に狂奔、さら「個人の窓及が實現」その修院書五本学教を中華性景の門場となり「獲完学動押礼した後一號に搬嫁、近韓放したので京城西大門外の「獲完学動押礼した後一號に搬嫁、近韓政上だので京城西大門外の「渡り動かすことの出来れ銀鼎器」の時東県第に入業、その後国党「影響の動かすことの出来れ銀鼎器」の時東県第に入業、その後国党「影響の動かすことの出来れ銀鼎器」 進めてゐる

八りの既布を拾つて龍山器へ配ける飛鹿中の西界町で四百個 が九日島市山陽で財布を受け取り面のさる様釆所の雇人販道率さん 出た正直連轉手のお脳で死なうと れた、しかも落し主の艦陽郡恩平 まで思った落し上の使用人が数は 拾ひ主

すの受信機は現在各座送局の一に取締ること、なつてゐるので、一間思した、西大門等では石垣上事 を横領した外オーバーを窃取した職員轉車店に雇はれ中三百五十個

は、 第二届を5寸点のに附長長 数の事業を得ってんと数と数タクン・連続手件楽できた変命的 先の解釈命令を喰った大本数と数タクン・連続手件楽できた変命が 先の解釈命令を喰った大本数と数タクン・連続手件楽できた変命が 先の解釈命令を喰った大本数と数タクン・連続手件楽できた。



# 111/2 マギュス います風、八日夜来の気は京じ方面では大野十五ノーナル内外で吹きつざけ、市中の看近も吹き飛ばられた魔もあり、進行ノ人々は大田りであつた。九日に入ってやく養へたが、それでも外出の婦人たちをなやました(菩提は群級前)

なことから殺害逃走した児島和人、難つたところを待伏せてゐた解答 尿城に潜入を發見

短所内に耐人した惨勝で意識道形。指、右の似行を自日した四半三二〇等輸着金融成でもは京、紫松尾、金剛巡査が将国の5へ連

がゆるみ

消る

▲出張調理モ致シマス▲一品ニ モ配達 速

料理化等質

切

可嚀

イスケリキ令東接着合流株式會社

太助議会病ニテ四月九日午前零時

時西四軒町島野山別院ニ於テ佛式三段御通知ニ代蓮告仕候

倒して電線を切断、通信不能とな が構木工学を確さてのうへ選供をした。 郷 こんは主人の云ひつけで八 郷路上に墜落レール三本をへし曲。 海半ころ松屋線で橋、春間間のM 「製養液中であつたが九日午期五」あなたは? 』とお互じ、「外な顔」に数数地の側所あり、鐡道局では、タクシー宗平順名に含ふと「おやこと」という。 方面は一朝日來の降雨のため 線路に つた密が當の鄭さんであつたから 布を拾つた時に四界町へ現せて遊

日京城へ米を釣りに来て、受け取 自動車に乗つたもの、宋春は最 看護婦生 部土産事門 

証驗

四月二十四日 十二日 日日日 日日日

外親族人

ツブウオッチ會社製

時 № <u>製</u>村木時計

**三**所 店

京城本町二丁目

ネツクス

<u> ԹԻՐԻՐԵՐԵՐ ԵՐԵՐԵՐԻՐԵՐԵՐ</u>

つたさうだ、甘園を謝禮金に連門 思路北西の風後には暗波北乃草始めは湿 全般天氣豫報 金剛湖

りの、明、新植物製



ウオツチ

壹千個ニ限リ特價提供 クロム側無地十七型

無 伊 平田 百貨店 (K) 二越京城支店 城京城本町一丁目



五

ルーホ階

お花見衣 ましく勢揃ひ:何卒御 特徴お花見用 裳大賣出し 清觀御恩命を

三階

階一

**尚武のお節句近づく…見るからに勇** 

軍國の春……

::大容高く翻る鯛鹹

り暦 [明日] 北の風 り[明日] 北

動お花見 連流行の 流行の新柄を豐富に取揃へ・・・・・陳列賣出し ハンドバツグとお花見草履陳列 ショールと洋傘 賣出し

孤興ボスター研究會 第一回作品

後邊 朝鮮總督府鐵道局 ギャラリー

OO.

迥 均

特別奉仕

最新入荷の新柄鹽宮陣列 期日中御買上品に張る

あの· 更上記意原立

の通りゲルベダルテ級の、『かをあっ、更に記念屋草としては既報 日を『緊密局テー』とする歌語で レコード吹きこみ学全解的にこの

安井局長がラジオで事業総代、同じの局の作製になる映画の一般公開

起続ファスグサビ版理

するか父は正式に手腕をせねばな

ゐる者は急いで遊當のものに敗君

ものたることも規定せられてある の範疇内の波長に駆り聴取し得る 以送を駱取し得られる構造のもの

もし知らずにその受信設備をして、相當威分せられること、なるが、 たり無線電団法第十六條によって

|大山芳型(Ta)は黄金町二丁目型||水棒御用||京城櫻井町一内

これを師付けるものは規則違反と の諸兵衛を召喚して廃出した

五百四十五メートルより一百米

水復舊す 永登浦の浸

九日午前中には位置し家屋には大戸の選水は下水不充分のためで、

が市場に現れてゐる、この受団機 は臨取無線電話用受信機として許 と語し短度をも聴取し得る受信機 か、近時 オールウエイヴ 受賞機

ノー七四州貞淑氏方則の島さ町十 家を壊す 原域館飼町六九石垣崩れ 八日夜十一時頃

京城未管浦町新村五三九の六十五

<del>專</del>賣局 と即後して御職者財靈祭、同盟國「趣質することになつた 記念式や記念煙草その他計畫 の参考館

吹き倒された家と二人惨死の現場

**場割が探知調べると、意外にも** 

遞信局に屆け出よ

オールウエイヴ受信機不許可

に属す』との奇怪な郵便一通が輝

で持つて来ておけ、この命令に出

短波兼用ラデオは

込んだ、申氏はあまりにも不可解

圏を十二日午後七時五十分までに 部の命令はことして「軍査金五千 山里高量中軽量で一方へ「取可行 滿傷一致で

役員を推選

平壌商議初總會に

麗はしき情景點出

電視列器頭は 野工電源所謂 位決定については光例に鑑って期 関工電源所謂 位決定については光例に鑑って期 関大電源所謂 位決定については光例に鑑って期 八日午後一時一定した、節記記書奏礼三名は陰坂

選挙に當つては松莊園旅貨起つて の活氏の選任を決定し、なは質問

| 大町|| 盟曹昌配色内の密設画線| して大客自行を向いたけ号をして 地土であるが、このほど絶域部態|| 製を開助する等、地土関小作人の 地土であるが、このほど絶域部態|| 製を開助する等、地土関小作人の は大野行動に三十町中を育する 外、命配高級の小作人には代金半 地土であるが、このほど絶域部態|| 製を開助する等、地土関小作人の は大野日間と同じます。

六時には六センチ師八時には時半ころから本降りとなり耐

西部・南鮮地方は雨であるの して北部一帯は盛り、中鮮、 測候所は打砂してある、しか センチ内外の緻雪であららと 一で、どんく消えて行く ので朝まで陸つても十五、六 十二センチも積つたが推節は

つた腧線で知過が降下し歩と近に遅ら関

節がないと形しがつてある 糖飲前の大温は古老も殆ど記

機能は国滑を映ぎ楽蔵は暴がら、窓勘の念を具般的に現はすべく金みた時にはその任期中意譲所の一に支をものとして一同窓議しこの

奇特な地主

農糧を無利息で貸付け

金肥の半額を補助

いで心臓しきつたよ

日は顔からチョついて午後二 が今頃になつて顔を見せ、八は栗ほどにも降らなかつた雪

鐵路通行は危険

少年跳ね飛ばされ

登校の途中で重傷

春空に凄感を盛る すばらしい放れ業を公開

**地行第六献隊の開隊祝賀祭は来る。中佐が委成長となつて案を練つて、よる道修卒が行尊敬職のものを公(經記され脈遊を加へられたのを退[平鎮]開除十五開年を記念する。るべく総大なる顧しを能職・避避、腹離・脈搏腹離・九二式脈闢旋に(総財立卵人や育米の援金氏・三日** 防空思想の涵養に努める 飛六記念式の計畫

## **継行することになつた、弾力では、の参加を挟めて飛島連合の大瓶智、靉鬱を實施して研究原生の龍翁に五月十日果大総職において鑑力に、あるが、今年は続に平賦島協鵬縣、押ける鬼居である、この外戦を販** 部面及び背中に斬りつけ重傷を買 み所持した朝鮮識を推つて消女の はした事件は流州選で収調で中の を 印刷し登山府の 全親を 色刷し

非常時の折頻重民一致の質をあげ、を懸行する外、程牒機による編隊、務めることにした 壯烈な 爆彈投下 爆撃隊員が腕を撫して待つ

門書類を共に荷州法院支際競争分

の風景、名郷敷魚寺、勝山の城地」が該土地は昨年三月、地近居住本知られる金津の裾落王殿、落葉江二三郎四千六十四甲を小作してゐた

密會教員を恐喝

七百五十圓も稼いだ男

小作人を異動して終土地所在地五上が世際氏は上地の資理職所上、 貸してゐることが判明したため地。 た島散圖と郊外の名所海豚として

成は京城府等井町一二一河邊灣氏。作人關係を調べたところ季度成の一土地を傳統したことを指摘して慶

【清州】清州郡江内節侯仁皇本展 顧明から河邊海氏が買取し直に小 地を制貨し座に中籍教なる爺に同

調停の判定を認

かつた小パンフレット「釜山窓内」 盤の往来激駆に臨み從来完備した

「釜山」観光協館では電光観光間

観光協會で

編纂を急ぐ

量雄によち込まれた 釜山案內

つばらひでも少し過ぎる…」とあつてはその不敬。へへへ……御醴は致し

令を逆用し

上に楯

**小都合な悪小作人に大鐵槌** 

「平均」 飛六線隊では来る十七日 る質磁螺が質配されるものである | 借金三百周を踏み倒して四日、突 物凄い爆撃競技會

隅田何吉には去る二日佐曜南本

【羅斯】 成い文句を加べて飲み組 ロハ飲み凄文句

--高維的北越町周五科明人

午前八時から午後四時まで十五キ、朦朧中隊は腕をなで、常日を行つ 費を開催することに決定、間日は して採點されるもので第二、三の 八方手を題して行方型電中 から同様機能場において爆酸競技なほ様使は一日一回電車員が評重 置機弾を投下するもので急陸下 である 全國大會に出場 精鋭すぐる特別演習に 然姿を晦ましたので大脳さとなり 河合政吉(き)は大正十四年から番 移民を瞞着 畓四町歩を 賣つて逃走

> おでんで過を飲みこしても渡文句 **期一時頃生駒町玉川支店にいたり**

立層の下に開建されたが被告は

ら遊群法院松本被判提席御順魔都一二年を表形した、阿決当改しは十

時等清州即北二面靈下里居住下師 【清州】旣報、去月廿二日午後四 逆恨み泥棒送局

山所生れ関子こと宋王昭(三)は前一巻(き)が同里要山で落葉珠集中、 女給雲隱れ

「行されるが飛六よりは第二、三州」のが、館事、鑑恵、成果を中心と「金(木)が一萬百間で開発機能を組載し、1985×1、1885×15・15) 部隊との聯合演習を兼ね至中勤務

物説が登場して特別協議調査が議「早前平原館、稲南に建く度定であ

が一般ないの | 「小川に水水、河水 一泊、十八日

中、知人の同都光通面でが里到野

繁華街をつくり周廻道路新設

委員を設け具體的計畫を進む

府議懇談會で意見一

【平場】来の五月初 国際松弛行第一群各権ケ順総、太刀流、蔚山を經

飛六の鐵鷺機参加

四町七反を年間位置で貸別を受け

航砲連合演習

式債祭機四艘は來る十七日早

| 平塚|| 各務ヶ原が行第二職隊の

【清州】本ビル、グリル女総、猛

東滿にも春。延吉公園風景

く野外航船返費を行ふものである

登留へ掛け出たので手配機能中でた、被害者河合は六日重いて統 してが引七十三十七個を詐敗逃走

東部が勝び月里県地面につき地を 懇談將來の仁川は超上都市として 「観光し川」の生命も記却するこ

報の如く埋葬により島の隔廻直路 る否である。しかして月尾島は世 花の代りに忘れ雪

| 永井府平は六日の府寮職 | く別く委員會で永井府社の掲載す | ねて同郷にたつてゐる仁川神社の | 競災は累計五名となつた る観光事業の全紀が明らかにされ 繁華的をつくる外、か「【歐興】戦南道内の旅行独闘登録 二名死亡 島側も号順されてめる原係である 元山に流腦炎

以滕道内の阿儼思香は與第二名、以滕道下山陽配に解離された、。月道正元山陽配に解離された、。月山府京町洪三宋(こ)は阿病と診定

八年官選道議となり又中順院を同氏は安東郡の名家に生れ昭和

【大郎】慶南北南道孤悦し去る十一郡当以下十七名は各自縣田、

【大郎】 慶北首

事業は第一年度分は像定通り連携 國部にこの職戦金した 総のため起工した洛泉田の大治水、費として平線歌兵隊を通じて軍を年度から十ヶ年計画で洪水鰤帰根、七十二銭を得たので頼鮮防空器杯 で初年度に行はれず延期されてゐ したが工事の起上式は個々の機関 所による大肆化工作の削途を帆船 「月下の職大な起」式を進行し砂

◆……【讀】遊飲

声を来たし、強に整部版内を起しずに加るとか、膀胱や直蓋にも縁

**が災を起し、胃臓を出し、胃筋過** 

神器皮膚のはで、時に神器館や脳

丹間傍の如きも、数年間は軽い

危険な脊髓癆

具體器を目下山水脈で練つてゐる 部態の普及記憶に築むべくその ると共に事業の完成を請り父愛 必諌の献金

なほ儿目は耐となり断次回回 個月五日の一大三センチがあ

成興でも雪

のが今回のは新記録であると つて確定をみたのは大正六年

**兀山に十數センチ積り** 

測候所の新記録

に元山田近だけが雲であるの

雨は夕利六時に至つて事と變成則はまだ雪だ―八日午後の

咸興】 寄もさなかといふに

は母子に別近の低潮路が黄海

を辿つて中部に達した頃シベ

世界を現出した。例年雲に見せい子と降り種り時ならぬ飯

り、またとく間にニセンチンニ

短禍打倒の

溫和面美學

舞はれることの少ない威災に

極めた天然配施行の際同部落から

にあつては過度境地三郡に指数を

の本間質にさんとい 心に骨を振つたが水一分治原すれば、膨人不具とならず あつた祖里コガロ門 他里の国際歴紀に入 - 一項の影響を受け 生則から親交の これる記憶力の蔵職、得意力の観して現して光しても、最初の虚似として現

之、道徳観念の城退等の時に、元

梅毒と贈事

梅毒性吹出物に

にあるものとして一個問題しこの ものださらな 【平事】年南海道都沿和面回陽里 の能が形って昨冬手に入れた頃か ならなかつた小さな古動画が年来 …ところが本間老が欲しくて 然に離解型は、遺傳機能にも、後ので、却つて肉勢を増す事となり 线す事となりますから、父は他の 天御帯にも出る田蔵配ゆる、特に 夫婦間の権害意義は、後来は誰を に済むが、多くは治原を中絶する

能感を明さればなりません。 海外への雄飛

高めに、他は子の塔めに、荷原の

んだのが気めた計あたりの古動館 るしです』と木材に納めて持ち込 た古世氏宅にいこれはほんのおし さすがの古しさんもおそる 調か誇りとする場であります。 た。ベルツ州の海外通道は、戦功 の聖費さを製造るもので、本社の に海外への輸出が源度して張まし 肥液の部や、全身的極端素の個外患症にも、ベルッ丸の温服はまづ 問述の如き、権道中の最も選供 職能内以指ベルッ 丸は、砂川道

THE WASHINGTON 際、脳極難、遺傳模様、リ しつ戦、ひえ哉、せきずの **福岡、田岡、田田、 田山、** 

**發賣元 給 木 日 本 製 藥** 社

製造の除去など、凡で解謝時間を一個解代理店「京城市… 岩井・木村・参山市… 大黒・藤田派世と段配力、不良なる新陳代謝」 提着頭京四五番・閩語事場八十番・九十世

録して上降することになり朝鮮の ぎで間に合はどうため編纂中であ 成北鏡城郡暦台面城南河の層鑑で 東莱海電臺道泉の高属と紹介を軽 春を訪ねて殺到する観光際に大急 二位復雄(\*゚)は六日午後六時頃・「毘禰」威興府外西上里八一ノー 爺さん縊死

散らし代金を掛は口ので交

曳かれ者の小唄に「家へ歸

丁よ、ガネ、旦那、留置

組死を遂げてゐるのを通行人が翻

みられ死間は極死の上世理罪に附一下すに至った、なほ思北道内では一 見回け出た。同人は病薬に加える 取消の申立をなしたが、このほど

同法院では申立五下の旨、戦決を

べ

25)

丸

海

外

飛 0

躣

重に今や海外各国に進用し、他の至る處に好評を博し、経復内服略でありますが、経復内服略でありますが、経復内服略

しつゝあります。

有能年、緯々出でム釜ム罐ベルッ丸側見以来、既に十

という。ベルツ丸の海外飛躍 よむ。ベルツ丸の海外飛躍 なが、将に正しき軌道を もので、将に正しき軌道を まりた。ベルツ丸の海外飛躍

**リ丸の閾値を知られよ。** 何事も観験、先づ以てベル

思様件の一つに加へられ、この判

第山】去月廿四日午後六時廿分 | 五日末乙職橋内をうろり 南百號那宣縣面中洞金一南方 股地令を開に取つて地主。狭を下したものである 冝寧の放火 嫌はれた隣の娘が 恨み晴らしの仕業

南に旅ばれるのを記み深人の選守 | 戦場都朱南面南岸海李殿帝方で師も職家の職業起職によが年業立 | 隆青をやり、本年三月廿六日歳北 中のところ、この関連人は資外に「『最の時から十聚年に宜り柳里で「焼八年性があり所観路で迎入魔職」類を所待してなり風潮の編果、「中のところ、この関連人は資外に「最ことの発展している機能というという機中に 不在中吹車場から出火し隣家の一成雨製山地大南面長市里労働金 る男を同地能在所以が機両する。

服を個へ確に公州地方法院に順定一 金下したとうる事度成はこれに不 偽醫者御用 [編集] Hall'Y中

毒中

0

行覧際はなぜ危険か

兆候は關節炎や神經痛の症狀

愛南近海 に 智異山丸八方に活動 しきりに横行

撤退策船でアナコを軍漁してゐる 神郡大入場付丸山若捻びしが難助 取締断貿別山丸が正評島神を警戒に乗山」七日午後五郎半島道端楽 中国品北方五浬の海上で大分縣常 

育魔境、内臓保護、性節保護、臓 い女岩来を及けし、物に消化機能 両病、吹出物、ニキビ、遺跡根壁地、川僧毘婆と来る、製炸棉養を 重の吹きは勿縁、消部内臓に著し 一般保証、健康、強減、健良、皮・心・水子の は、必ず就後の影響を除きます。

今日では、之等の概形も、沖砕一 | 云上間上で、イルク光泉用後の弥」鵬而光、肺臓腫化・血部系統で伝統が思心感であるが、朦朧の辿りした。 を助け、産感を進め、肌症を増すと | 脳椎椎、脊髄炎、コム側、神経病

で大統に近く事が出来、連邦は一果は、血液検査でも、超級者は充分一般性能能に非在地で人は、説験はつで大統に近く事が出来、連邦は、果は、血液検査でも、超級者は充分一般性能能に非在地で人は、説験は

その効果の概を選び得られます。

ず、好的あるベルッ丸に吹り、

機

西の前級を職行あれ、而も本制は

連乱器であるが、

組成版に加出するがが出来ます。 然るに之等の思性権進が、年々

選に過ぎが内攻して、五臘の諸内 版理するのは、共の治療法に映路 組な治院のため、病務を思化し いるに なばれるない なあるからで、例へば酸疹等も、 金融せば、根跡 それを戦能し

洛東江の大治水

今月下旬に起工式

慶北で準備を進む

臓を犯す事ともなります

を開はず、一度限備の侵入を被れ一良難である事を附当坂します。 福徳の危險は、脈刺語と麒麟者 して服用し得る、真に効果を持る 最善の治療法 梅毒性の脊髓と 禁償低度化ゆる階級の人が、安心

秋田縣平加和機手町 ア 宮の 病に

坂本 富美子

(第一信) 御送襲下さい主したお楽、毎日殿用政し居り候庭、日々状年の黒いる快藤下もののを存じ続いば、御安い下され度く、会とは開水しては数での外之罪く、今後は同様首にも、豊館、一の個社とも考へ、協力お販め数し近くを行じ着り、北京から最近の割すもよく、ベルク丸の基礎で、青鶴の締みますが、深分も最近の割すもよく、ベルク丸の基礎で、青鶴の締みますが、深分も最近の割すもよく、ベルク丸の基礎で、青鶴の締みますが、深分も最近の割すもよく、ベルク丸の基礎で、青鶴の締みますが、深分も最近の割すもよく、ベルク丸の基礎で、青鶴の締みますが、深分も最近の割りませた。ままに十国のを一個を送り開かまって配用したいと称じますから、予念に十国のを一個を送り開かた。



るんだ、との喉が爬へられるやうになつた顔を見せなくなると『鬼ビル』に聞いてる その医子さんが、昨年あたりから、歌館に

ても稀しい私なのです。髪型したい、もつの一も歌らしい。ものが出来ない今日、と 美子さんの『君狂』さんは、鑑賞する十分

~作りたいのですけれど、とても仕事

流行のお尻を辿すかけ廻して、負

になることです。

一覧に、現象的な中心彗をおつけ

活の必要から生れてくるのですか

たとへば、白つぜいお召物に赤い

面や頭部乃筆は耳朶は赤く熱くな

り、これに反して手足の先きは却

の必要がある間であります(織く ありますから輝い内に適當の手當 むやみと顔の方に上り、 鑑つて酸 して 解々の横飛歩に神經過機能や 即も、選上証とは身権中の「解談」、ボーコ・最低して置くと都次角思

「ヒステリー」等に進み弱いので

門に成つてはくれまいかと言はれ

アン左続か、それは孫右衛門無

名嫁を相暇いたし、二代目数右衛 rので・

ば、其方今日より不被敷石御門の一不被揺に儲く似てお在でなさいま

明朝日 石海海 丸丸丸

名を絶やすも残念であることなれ、ますは昨年御手治に相成りました

るので、結まり人間は一個で、名

が伴ふのであります、『ノボセ』(遊上座)

であります。こういふ頭痛や一ノ

て所淵揚艇を立てくるるといる風

元 げた頭からは汗が流れ出

動切ある武士であるに依つて、家間大きに赤面後しました。と申し

あつて家が超へて居る、如何にも「長まりました、配きましては手

新出帆 代理店 明 石 丸 丸 四

後、さて以前我が家來に不破数石 日夢る約束であつた、丁既にこも 明石浪人の飯にして敗めて呂抱の「きを多用のまゝ失念故したが、今

時に何遠までも多田極兵衛と云ふ「アノ左標か、其方へ申し置くへ

内匠頭の割へ大石が伴れて参った

めの人は顔を知らない。それゆる めであつたから、在府即ち江戸島

不破敷右衛門は、これまで國語

世にも不思議な 不破數在門5

ひであったかと思ったが 悟道軒圓玉演

PLATON

BLUE BLACK

HOH |ATHUO9 | PEN

も腑に落ちぬ顔をして主人大石の

旗門と云ふ都があつた。昨年仔細らへ通せい

に主として脳の光皿の結果であつ・

そしてからい上場合には多く

何はか一班へ中心断でつけ

ブレイン (難趣) な形のドレスだ

貴女の洋裝はこの條件に叶ひますか

スマ

ートになるモダ

頭筋とは誰しも知る通り頭の痛む「解がするし、且つ脊髄の熱病にはを解くる人が 弱いので あります | ます。 回も一寸風邪を添いても雪!

ます。即ち一寸層邪を恐いても頭

乃至徹底など、實に数へきれの程

盛にいふこの

ず、ために身體に故障を惹起し、ひ

あつてそういー場合顔を見ると赤 ともあり中には挙倒するもの言へ が軍で話だしきはめまひがするこ に肌が上るやうな気持ちがして頭 あります。即ち何んとなく頭の方 せて困るといふ人がよくあるので 同じやうにこれぞという職優なる

いて頭筋などを起すことになる認 は、此の自然界の現象に顧問し得 神経痛や耳鼻の疾患、眼病、中毒

後てから身體の強くないつまり弱

目の時機に際しても、身間に何等

先きのやうな領族の題り

によく頭痛やアーボセ』(近上記)ないものはこれぞと云ふ脈因なし

後てから除り身體の強壮で

のは多くの場合は一つの顕立した

に附近した谷間の一つなのであり。世のではなくても顕確がするし、病気ではなくて、いはよ或る疾病。しか思くても顕確がするし、

んど無いといつてもよい位で又関 多少とも頭痛のしないものは、 建義氏

談

用が、至極個滑に且完全に行はれ

が、然るに此の木の牙の崩へ出る

**巻光きの頃になると初記の頭痛と** 

際せんとする自己防衛の手設であ

といふ有機能が自然界の現象に適で、これはとりも直ざ了我々人間 らの植物性機能の變化を来すもの

質協病の場合にも起り、眼の病、

間の身體は四季の深族の態化に伴

放つてお

先きに多い病

かくなつて、化を述べた容光きに 脱因たる疾病の認むべきものがな

くて、本が過ぎて、領域が漸く吸 春先きの頭痛は、斯標なる明確な

**頸痛は、脳の他逐衝翼の降離・然、緩ぶし、そして**であります、尤もからいよ陥れの 競響して見るとったんよりも苦し

際山の色を同時に身につけるこ

女自身の好みが、何處かへ十つと のをスポーティ (散歩 風) なも

吃度負女に倒合いません嫌びな色 とんな流行色でも、お郷いな色は 題の低いスポーラ風の靴をおけき なことだけは到生意が肝要でせら になっなど、どうかと思いますね

るのを時間見かけますが、こんた

が嫌むで、

トクトクと耐を歩いて

緑物のある時はその抱へ工食

洋思は者こなしが第

は身にこなし難いからです 当の服を若て、黒い靴、縁の宛 一色又はせいたく三色以上 ことのハウクル (留金の類) や翻 **や、その他ハンドバッグ等の接切** 

の色にするとか、航子とハンドバ

そこへ赤いハンドバッグを抱 な洋墨の跳は、案外こんな細かい らに、もつとせつせと似合いのも のむお探しになること。スマート

場合でも、無暗に急いで支度をな

歩く時には一つの姿勢が要

になられこと

れない私、殊に、鳥質能なものが好きなの **並依ですが、からした、雰幽窓になじみ切** 活機線の、大きなショックで、此處へ來 さらして世間人間の必要に、直接觸れ 初めて知つた總でのことは皆歌の好い

る父親や、女學校當時を、追想して、 たい時は、娘で好きだつた彼水の歌 第に入らぬ客は、腿をつぶりの日 果などを題んでゐます 笑つて顕進語を敬へてあ













身體が膨れて歌に懸める新分にならで、こゝの場面を詠んだのが少いのです

に進聯て入父と語らふなり心忙しく針連び居るなり心忙しく針連び居るなり心忙しく針連び居る 二人登しで不 自 由なくみ すず顔高女卒業後世線に逝れて父親との の作家殺野英子さんは、京城第一 並以 聚巻 脚してゐたのでした

んさ子英野狩

圧追はれてそんな領特の限はないのです

78

(空の巻) 総 吉本三平

我がゆく旅の違さを思ふ

すつちゃいけません

えたとしたら如何でこざいませう」ところでございます。 こんな場合、航子と靴とを構ひ 8 お願ひの洋弦はゆめお召し

附類語に細心の注意を鍛む。ファラナイことがありますカッ になるでせうから) 待たれる際な 何時間(まきか一時間も行たせち 貴女の御主人やお友達が、たと お出かけの時は含かない

音等の 筋運を人れて概をはりま デがピッタリ 台ふように立て合せ で上方から跳を捲さとるとされい 示みをなほし、道みが元に限らな にとれます、次に揺に蹴子のカマ つ如路で一面水をそとぎ丸権 つかりはの子障

僧の折れたり戸耶のこはれた

して他丁鉱します(若し棚のなき)一度能調を通したるもの)金糸玉置き湿し御飯を結込み棺より取出。原源音をもみかけグリシビース( 之を一方は弦、一方は身と組合せ一す、すし細版に之等を選ぜ合せ接 に約1分割後取出して毛抜きに第二分平電は上海に砂斯上角機曲四号院し、か前にてよく水氣を斷も解一角機曲二号にて地の語るまで察込 す)して称二時間過ぎ、サフト水 十分水煮し、椎群は十匁に砂糖 り間(皮の方のみバラリとふりま 子無も約二時間水に満雨方共和 位)を三枚におろし前後を去りて、晩より水に後し取出して健を去り 光分に骨を扱き去り、これを二枚。にて地の能るまで源込み、後刚方 に抱了し、皮の方を二ク割とし、一共取出して小さく爬丁して置きま (雀壽し)小鵬・(新五寸) (散らし壽し) 惟常は

時は瞯の権才しの如くが間にて蛟一子、小鵬、海老、三つ葉(湯した

のはすぐ修留しませんと除了

が個んで永保ちしません

門は安服大小も立態に致して大石一門は再び出て來たが、 ち受けて居られた。さて、数右衛 終内証助の供をして居るから、敷

|五4用人、此人は近岸國交代で始一置いて大石の間に出で『昨日は先』と出て誇ったは衛階部右側門と「提げ、案内に従って大の間へ刃を 『何れからお出でになりました』 『イヤこれは、御約定は致して関

れぞ敷右城門が自慢の井上真海 る面の差し置いた刀を見ると、こ に次の間に來た多田極兵衛と蔣す 不被敗右衛門其儘であるから密か いたが能くお出でになつた……コ 然し孫右衛門は見れば見るほど 確かに見発えのある品、

野口商會

敷石衛門であるから、如何に武士 手派となって聴世に祀る語のないとヒョイと顔を見ると、既に歯

であらうと係りの意外に必能して これは人不酸様ではございま

せんか・・・一登下は昨年

……御手はに相成りま

不思議のことがあるものだと哲く

州明石の浪士多田鐡兵衛と申す、

「コレ何だ、其所で手を打つは

高杉商店回

「付品景」は際のめ求買お

/ すまひ願を定指御と が品景等五 ミ券號番窶抽に中凾キンイ ぬれ切覧 すまりおてつ入くなれ機部全 をめ求買お で店具文の所近御にちう

上紙開新の旬中月六年一十和昭は表張鑑賞 すまし去義に店賣販具女ントラフ國全び及

キンイントラブ

「初めて御意を得ます、手耶は描 と不器し就に問ふ言葉も聞えぬ 右衛門を知つてゐる。

たが、其族を承知されて翌日を待間が数あることと思ふり 内匠頭は可笑しきことに思ばれ 申すくらゐだから、同じでうな人 内蔵助は遺まして居る、孫右衛

之 鎮南浦、大連、天津行 (英語 東門計 三 早藤朝公離 (本語 東門計 三 早藤朝公離 (本語 東門 第 三 天津行 ※代書意量 本社及代理店へ御申 基プリ次第各製航路案内書棚店リ 駆シマス 鳴合汽船株式會計

利通歌 四九 田丰 階

参等 四等 豐等 五等 順等 特等 又はベン先…… 7 双 小 ラ 型 ŀ 眼 寫 3 萬 ャ 一年 

待優御 (Q)

プラトン萬年筆用インキを一個 (金参十銭)御買上毎に日常の必 (金参十銭)御買上毎に日常の必 (金参十銭)御買上毎に日常の必 を支記景品が當ります。 で左記景品が當ります。 で左記景品が當ります。

北海道 北海線 北海道 北海湖 北海道 北海道 北海道 北海道行 北海道行 地區 水 定期 医腹腔喉支贴

三月卅一日 寶遊運輸支店 新遊車出机 外型店 寶遊運輸支店

吸弹出现 代理店 北鲜麵盤組四月一日

阿爾川縣 代理區 富田 商會

企山出列 代理店 剪鲜迎逸支店

氣 特

の洋脳家であった。彼が逝いて既

際語(島林・二人分 制限時間各八時間)

中野英治一黨

を、で、とにかく二八以下の日の四子。 の二無「を四」日 『わ四』無「る」と極ん の二無「を四」日 『わ四』無「る」」と極ん

大家洋畵展を觀る

五月二

日か

ピツク・アツブ

月經調整と

今日は頭がほい ボンヤリナる 讀書の裁縫が進せる

月經寡少 月經不順 四肢冷感 視力減退 層凝り 發汗 道上 疲勞頭痛 耳鳴 腰痛 下腹痛 憂鬱症 症

町態道區東市阪大 店商衛兵長田武鷲 元 賣 發 町本市京泉 店商衛兵新西小姓 由理代東語 町古大市崎州 所究研樂器職社國帝安 元 造 望

注射液 育、至育、千、二萬、至茂、洋至萬單位あり。 (五百單位) :10錠(1圓瓷) | 三貫(圓代)) 授本(二萬半千単位) | 10錠(1圓瓷) | 三貫(圓代)) (三百單位) | 10錠(1圓瓷) | 三貫(圓代)

指晶性「卵胞ホルモン劑」

86-366(O)

提麥酒販賣株式會社 京城出級 所



+



**越賓器郡主派** 時々五十三次前後大會

若草映画劇場

水の原作矢は点線監督 大邦原作矢は点線監督

磨 人は短命

¥.35 .38 .55 1.20 2.00 1.00 

呼吸器と

汁 0 分 泌

**小足にも賞用せらる** 

こんな時に

シンを

かた

お出かけ前にはお忘れなく吹いたよ! パツト咲いた

### 織は即行論 異論出で協議續行

持つ殖銀

物細る 目を惹いて居る

用料すると話け

国羽鮮郵船與出帆

观略代型品 赞慧兴览文出 清峰代理品 图图亚峰支出 發更地 大阪平野町 國 赤 蔦 旗 全國有名文具・紙・百貨店にあり

版を、記者 ないとなり、フォ



字垣總督東上 「この人京城際で」

「東京汽話」十日の観測に附続さ「但しこれを則年度度算の公供部行」る個別第一號環境業も目下

低利借替に依る負擔輕減の爲

九百九十一萬 八萬一千圓の敵少を心してゐる、

では時期切迫のために般的少額に

一四百萬圓減少か

なるを順権としたもので

10九九一〇

路標度 計 化金

九十七萬間となり不成立世第一が別察されたが含めであつこ、

の機少を形すのではない

「聯」「新聞大便武者小路公共氏は昨年上

他の途中九日午後三時廿分入城朝

カドガン氏を迎へて

意見交換會や開催

月田大使も出席の

日英關係の調整懇談

<sup>汤</sup>。武者小路大使語 酷め極潮出帆が常過速に向つたがは生れて知めての洋池森に麻笠を 明中武器小路大使は北京で融る ベルリンで路合い文型を通じて自

ことは月園面園の画情が鮮田したぬこと、物質の缺乏してゐる、領土を持い離保を有してゐる、領土を持の意味もあるが特に文化的の深 日本と脚型の腕保は色

二二人委員會で

・開かれ、主人側面光天道以下 和『巻々祖に午髪を共にし、終つ 一蹴に適田内観の自主種様外

會は午後電路中から次官を助にお一母大使、有苦則能支大使など別席

行政機構の 特別議會後に

廣田首相歸京車中談

同時に無性所大臣の問題

英佛の見解對立 パン師なる野生馬の単生に応 は収録で解したヌ であるが▲部門 であるが▲部門

会主は職職和職力組を要談したか。 会主は職職和職力組を要談したか。 一次自は九日州間、午後二回に辿り開 の人選について大久保証子、 の主は職職和職力組を要談したか。 一次自は九日州間、計画 司法器與官 子ることに成功 場としる色だ 紀後生まで野 要界の注目の は死に始えて 受配させられ あたが本その ▲元來このw 極々の交配を 馬を振軍に選 であるが連邦 ザラニ氏とう か出来をそ 那多時間也

二億九百萬圓

閣議に

越地し來りし締め我軍は雅民なる 中蘇城軍ゲベウ十四名が樊和不法て日本軍將校〇名長〇〇名が國門

三つた。九一〇

鮮台兩銀の

华元

夕刊後の市况

てなるのであります。

鍛台下の県民にあつて政殿的令第一線状況を観察。

深堀参謀歸る

更任を果し

がら當時の布景放送その他に勢、聯との打合せを終、九日午後、

個解項司令那過點に首臣卑力分別山立帰住した。事性変態は

高豐高豐

月瀬アルミ 光へ 七〇

代料型の部屋 だれてはなりません。

谷有谷子パート警島部にある。 高、島切の様は背接本



**共動** 令することと 十日の定例閣

松島。鷹天

湖内 源介

唯ならぬ 春は酣

動脉硬化症を早く手當して 高血壓とは百六十ミリ以上 血壓の動搖

腦溢血中風 を防がれよ

となべした場合をいひます、原因は常様似意。 過ぎのとされるのです、意は能験の非常に嫉話する感です、感に感は自六十・リウはをがいる。 なれた。 配数部、 登録等の依頼春であります、少等の教心は、配数部、砂路高、膨胀元温破み、 機際企町・中央、 の、無既配が総合、 膨胀が高、 機等から 音報になった。 解、等が配接を漂らせて、緊緊硬化を楽し、配塞が臨床の無視、関係の関切、関係の過去、機能、腎臓炎、膀胱 人々の最も曲筋のできぬ番の動であります。此時節に

原授敬諭 (六

際見 高

早く氣づいて下さい

ず、その時こそなどな悪情楽を脈形して黴質を悪る場とたり、機材の恐怖な素斑が黴臭の丘に現はれるのでしたり、亜起の堤がシビンたり、感慨は取鳴が てお時は間がこり、時々めまひがし、個連が充分なか 肥勝が緑餅に就識した時は百六十ミリ珠比でありまし たり、のばせて躍が強かつたり、或はッキンノくと あります、昨年現代とある臨済館も思く知づいて草 れば大概はいげるものであります。

壯年者頽齢者に告ぐ

大十龍遠の艦き駆り、龍龍鹿氣膏の人士であることを七十龍東山の鹿龍薫を襲いもので株に百十龍雅彼から七十龍東山の鹿龍薫を襲いるので株に百十龍雅彼から大野豚龍代山県 高龍勝りの

十種の各種である。全層地で野の信用ある常原業種姓十種の各種である。全層地で野い十二世、漁用二千四日配入二十世の各種である。全層地の野の信用ある常原業種が

に御往文を願ふ。 日本總設政工 東京市本樹品納坂町五十二番地 合洋

既せられてゐたロシア民族は- 當他別顧の貸めに、その伸張力を押 程度成功したのである。この南方 手に、その倍國主義的企圖は相當 つけたのである。そして沖縄を相 の性質を帯ぶるものなるに於て、 約であり、細然たる對日軍事同盟 時最も晩弱であつた極東に對して て、南西アジアに於て、英國その ロシア時代から東ヨーロッパに於 青年を要すべきである。出来帝の 不を假生敵國としての相互援助係 ことであれば、とやかくいふべ

喜びの聲野に満ち

史生農村の實

(4) 朝鮮農會から表彰の村々

職事以前の日露の國家的仲脂方向事となつて現れたのである、日露 展方向とが賠償してゐるか、ゐな であるかを一巻すべき必要がないか、またその脛力の掘さがどう てゐるのである、何等かの策を施 現在に於ける日酢の國家的酸 下軍川里下軍 三陟郡盧谷面

さいに大なる顕心事でなければな この條約の成立は日本にとつて

明のに中華民國こり遊離してソヴ 互接助條約を締結するが如きは、 られ、たとへ外域であるとはいへ、 が、中華民國にとつては、さらに 滅に成心を襲すべき重大事である ート政際に合流せんとする意思

要へ変半起さ出でては悪路の空除窓に変形の土根羊顔氏は溶く之を 体部落形生のほに誤ぐましき努力

計議前の狀況

咸南永興郡 耀德面仁興里

を除て、相慰時してゐたのである。谷の中の同殿に人家蛇々と驪見しからうか、また朝にはその力が海・鄭鮮中部東海岸を西に群る六里山からうか、また朝にはそのである。谷の中の同殿に人家蛇々と驪見し

型へび宇起き出でては認識の更能 用を圖り其の他戯詞歌屋の配行、 窓に変現の士科学観氏は深く之を として消費組合を設立して之が結 窓に変現の士科学観氏は深く之を として消費組合を設立して之が結 | 次の上往時は歌道階限を事とし民| 標の遊成に左の通の成果を収めたて居る設寸が即も本部落で地脉砕。たたのである。其の結果実生三日 外昨秋の推肥の如きは平均反當五 に租赁へて懸命の努力を置け来つ たたのである。其の結果要生三目

槬

計選實施後の状況

農家の壁解とにより地方取良、産

東京 中央 (1975年) (1975年 史生の一途に自然共動の少みを記 計整置施後の狀況

良部落になって了った。

でも成百の更高が白葉公路と行は、保護行は不能の野女公路が月棚館の原言が出来、何時の臨からか錯、蛇の盛に一次要れず毎年記鑑の鑑成が始まつてからお定まりの意識、に指定せらるるや各監察は城地の敗が過まってか 殿鏡鏡示理解から祖典江を割るこ

に倒えますが、これはいはれのな

あるわけはない、と考へてるます んがへて、展空のところに、色の と中されるかも分りません

否は定派の色が一うか、空気をとりのぞいた空間と いか、これに對一ふことはいはれのないことです。

いふものは何ものもないといふこしな、チンダルといふ先生が、容氣

んがへて、異空のところに、色の(くするのであるといふことを、総かへて、異空のところに、色の(くするのであるといふことを、総ってす

それではどこに原因がありませ

そのちりについて、十九世紀の

青空はなぜ南一めに、空のいろが青くみるるとい一小はありますが、たくさんのちり

それはかうなのです

・心理由があるのです

となければなりませれ 一種のほうば、もりに反対して、いうにおもひます。また、何ものか ほうはまつすぐに就逃しますが、そこに何かとあるや そ れは、光のうもで、赤のこうすれば、そこに何かとある。

つもおなじところに、丁里、波の前のほうは、ちりに反動して、い

なりません。三気の高さは地球上 名割のことから申上げなければ 事は蘇緊の間にといまる範圍内

鉄、整備伊管についた熊樹剛鉄隊と対らしさらに集まつた子供でも、観音アルサス地方東部圏域に興速電阪のテインテンド東京装地帯侵入によつて緊張せる帰園西アルサス地方東部圏域 緊張せる佛東部國境線のこの頃 ニナハ

四 九 二 三 五 七 八 一 六

北思はれ

宿

世ると十五になると言ふのが何様でも謎でも三ツの敷を加へ合

朝鮮總督府觀測所

には全く無関係なものになり、人日ではなく二十七日と八届 けでは面白くないから之に色を 関大白、七素八白、九葉と白 国、六白、七素八白、九葉と白 自と繁を百とし種を関としました。又愛化が無くては同時も面 の方は七添の園では面白くあり ませんから認ての数から一を頑 としたのであります。2を年・月及日 につばらます。2を年・月及日

成化鏡域和朱 大型に近くの過程を持ちます。 世後の遺跡に努力を新にし実際の を整るところの細胞脈形質の物理や物で質が、 大型に立て着高い来る。 「一般」に立ては、一般に立入車の軸度を設け各重に失 内容は値形質の物理化物で置いて出生的地の。 「通知・単の本ではつつある外二毛、人につるの。「三國中、東京下盆上のの一般に立して音高い来る。」 「「一般」に対して出生的地域の進行者 生態の背景を生現象、電氣の生生の血酸に本して音高。とない機関として音高い来る。 「一般」に対して出生的地域の連絡としてもの、一般に対して出生的、一般に対し、対し、、一般に対し、、一般に対し、一般に対し、、一般に対し、

輸出生糸檢査法とそ

東亞(四月)抗日樹新知

まつて、ちつてしまらのです

く。もりのなかを語どほりしてし

たとよってゐるあひだが長いので

夕日のときは、赤くみえるのであ が、 の取んぜられるのは、その所論の の取んぜられるのは、その所論の の取んぜられるのは、その所論の がにないまで、彼の著法 が、経済受者奪政治秘書で、彼の著法 が、というない。

「ニューコーク同盟部官」英國著 るといよ、米國高家ジェーテズ・ 非のは近々三百年位のもので、 した結果が適中する標になった。 した結果が適中する標になった。 した結果が適中する標になった。 した結果が適中する標になった。 した。 の米國母遊の監備かせたものであ 外一八五五年サッカレイが二度目 でさる好事家の手に落もた、その の初版で、これは一千ヵの高値

を示めし二十四節窯を計算し又昔の膳に於きましても月の幽望

神。用。遊

産『子』下』め ま 変 病 病 ひ

浮"。 [連] [1] [1] [1] ヒステリー 腰 足冷込

村 津

店本

舖本 順

目丁三通區 橋本 日市京東 AO太京東替振二六橋本日話電

天

つて、反射を弱くします。皋間にになり、それだけもりにぶつつか ところの光か、とちゆうにおいて のりがとほい、そのなるめにくる が勢力など、石十峰、東京運町内の護穴礁化と將政権の局種、そのにおける支配の助卵、最近における支配の財産・政策、上における支配の財産・政策、上にいける支配の財産・政策・といいません。

のも、ちりと同じせうに、空を育く でゆけば、ちりのみならず、空流 新刊紹 してゐるといふことの理由もわか

11--能

は

人婦的代近

麗客と健康の深泉

給せずとも體内で立派につくられ

近來頻に唱へられる女性ホル

モンは外から補

中將湯の服用とそそれで、本郷は

全身細胞機能

を活躍に、卵巢其他の分泌器官を旺盛ならしむ る故ホルモン分泌が盛になります 居るのは、此の生理的 近代女性の絶えざる御愛用を受けて 中将湯が背から婦人樂の第一人者と して立ち今日益々稀讃と信用を得て よくし、濫剌と 康が培はれるので 別が行はれ、 血 ころに强力な

す

にも醫學的に 代的良楽であ

も貴重な作用を関む近







治病抗

病作

行と血色を

た若さと健

地の基本調査を行ひ十二年度から 理教所に頭を修ませてゐるが先 作面積質に九萬九千除町歩に選

所指量派を施すことになった

して全年度の指本制度に道内

を行ぶるので、 制直維項は大田

部作財混、収む難その

十一年度に於て大田民能に設動

あるので道信局ではこれ等の

響川」江殿道内の火田民は戸

原道で實施

の内証期和失該が再び世に出る

火田民の 基本調查

### 義人少佐の徳を 用される花園樹は能来船と全部南から産出される花園樹を使用する「食糧」北野合地の那髪で事に使一節行中の某て事に始めて食味が近 野地方から供給されてゐたが目下。ことになり、このほど約十萬個の 會寧の花崗岩 値がよくて無盡藏 建築用材に誂へ向

「成興」猫の手まで借りたい禁機「制没中である

上取引解消の通告が来た、道林春

あることが関うしかも無鑑数にあ、家が生、地方振興の各方面に及ぶ、設られてある。 だけ、京代日間の戦まとうこことに大量運石を行つたが極めて良質で「左鬢架車務の頃ら、即想菩等、に「不可能なもの一千九百二十二百に」で面似及邂逅を決議に既に残酷に

ので今後は全駐各地から往文が

「限りの関手を延ばして顕著な説記

をかげてある警察官の数は攻撃に

「境津」高東工大出版所長男万職、れる職協第一頭里桑の下機などみ「方針である」、国上現在当内の庭、坂津林、石場、検が「大変な本年度出事業として起工された景瀬からものは、『上端する」、「大変な本年度に出来まとして起工された景瀬からものない。「上端する」の十五日から山路するか今年は、「

近対修築計设置施平層の設度問題於ける保石圏の設分を行つた石は

【裏山屋】 巻山塔「四の帰還山系

惠山の種屋

年後七時から泉町小型投資器で開き続先であった。 「東東子県当一覧は後生の通り七日(配したが開発前所に立端の辞地な

百五十萬圓の

発生語に入るこ 人所式を行後は 三日午期小時か

结

星 解

上說

の豫め借入れ

**小材**を賣る

城津販賣所の成績

約七十萬圓の増收

加く器頭一島(紫明散以来の

瘦

AOは有害なる過敏元を含有せざる獨特の結核菌製剤さして歐然に治療、豫防、診斷的應用に當り毫も不快の副作用を發することがない。

関する

月 般:

警官を選獎

定め時間一個を贈って変勢すべくこれ等の原施整新官選別の内拠を皆とれい歴であるが咸事担では今回「日遊」にの内拠を皆

告氏は六月来城・岩淵坦長の案内られてゐる

確認者は八名である

處理組合が頑張

ŋ

紛糾蒸し返す

城津の鰛巾着網家元争ひ

九年度に比し約七十萬國の増収を

農民道場の

過視祭

北部開拓事業の順調な進展援

自己五十四週で挑戦約十四立方米

2 於ける十年度の賣上島は北部

伊勢卿宮に詮拝して歸校する害難足で帝都を初め各都市を見契

版津」茂山总統署城郡木林版數

郡守の仲裁水の泡

ふ頌徳碑再建 亡失を嘆く校長の斡旋で 麗はし嘉山の擧式

の三配に以分し五月十五日までに、個下げでせられたので衆裕にとつ。この民定年都から相當散量の木板 各部の副在を政機めることになっ もの▲直に厳酷せしむべきもの。五十鐘、三等二圓五十鐘と何れも、された、京城三板道の毫木規画は、を緩行し、見鑑き春季總院を開催 ては相當の順手である 【威夷】権電制度の實施以來、記に配達しても直につき返される、 成两木炭に叱言

増の二十五萬五千七百八十二國と みるが三月末までの成績は出版回 素明しい果態を示してある 来の累計十二萬四千六百九十一圓 増の十二萬八千八十二週、一月以 娘は八十三回城の大百十二回であ 髪の優勝師事態態性選手を続けて 面組合では不年上所屬機能四十五 湯村知事心乘出

中鐵道を促進

知事會議に提唱を決意し

沿線資源を再檢討

宿賃統制 悪山の業者

> 源の呼吸がに当手した たもの、如く幽像各談では近線資

元山、滕王寺を一等地、興度、北 【第山門】成南道當局では成興、

同部書記述はその銀行を永く記念るところとなり、間氏が去つた後 となってあたのを「地森山公理校 少佐の億行は地方部落民の故意す 魔味られ 今はその所在さへ 不明 っちに心なき人々のために碑石も もため同氏の領信碑を建立した

移建した。近く那守玉龍の下に 大なる移飛式を魅行することに これで物情になたりし當 世と記定して監督の領別報を鉄地、道たる上述らず議門領域、同様の「十八百十六回及び今回後、本山戦を「3地大の他を三輩」して東京の領別報を鉄地、道たる上述らず議門護師でも組成して、第二章といるさので道では実際鉄道とつので思川者からそれが「業市 総関連機の長期上これを「近して 第二章 実践のが世帯を建立していまって道では実際鉄道という。本書、実践のが世帯を建立し作成、港、本山戦を「3地大の他を三輩」して東東野道院院に有実際繋の途、有島、実践のが世帯を建立し作成、港、本山戦を「3地大の他を三輩」して東東野道院院に有実際繋の途、有島、実践のが世帯を建立し作成、港、本山戦を「3地大の他のものものは、3地大の他を「3地大の他のものものは、3地大の他のは、3地大の他のものものは、3地大の他のは、3地大の他のは、3地大の他のものは、3地大の他のは、3地大の他のは、3地大の他のは、3地大の他のものは、3地大の他のは、3地大のは、3地大のは、3地大のは、3地大のは、3地大のは、3地大のは、3地大のは、3地大のは、3地大の 青、本山観を二年地その他を三年 して軍事が証明的に有望帰案の経

れてみた由

のはじめとなって本所型務談とり

息子が縊死した

同じ枝で死を企つ した山手町三本承藤(『こ)の

爾商生內地見學

はれ母の嘆き

最近前の松林で終死 | 遺故に 家まで 費搬つて一案 五人

機船底曳の

提覧も程度で消滅に等しくお経歴と概れ維木で格や機は少しくかない

を仕入れたが七日『剛及び込版は、簡長清水干太郎氏は

本年度世界での他を附記したが前

内企制に内定してゐた産業組合

の原史を有し且相當な業績と財の原史を有し自相當な業績と財のの原史を有し自相當な業績と同じて無難に中著綱諸可のみを目的として無難にの者無理にの言語と解談の結果

咸與「覆審法院

事件敷からみて設置は常然

干園の郷地である、硫類配からみ、高八十一聞、胸作より三英国老い十一風で一昨年度に比べ十三萬三 りてコーで熨上高八十一萬二十四 草翼上高は自九十四萬七十三百九。このうち一海並形されたのはやは「清津」「戦勢局出班所の昨年度22 増加、組は五千餘圓の地である、

次はビチョンの十七萬二千四百十

繁榮會運動を起す

き役員から今日までの經緯を報告

内成北亜可事、那参與官は高等・山商な同意質、愛加支部後援の期 | 開催 竹内 知事。視祭 [ 夏第 ] 及び関新、北鮮時期間支出地に治・飼は「元出」本社元山支局主郷、元年(明元年)

館は十日午後七時から高野山寺で 等があつて光時般減した。なほ節

五日午後一時から公願党で周山武

育造合産の機運にあつたが、共産主名 一月開組合代表番組版の結果

劉提山肥共同國理組合の家工学ひ

年は各思生部落にこれを同談する一萬八千五十名に達した、なほ今 は元具一組宛を補助してゐることになつて、道此資事業協會で

關屋敏子嬢

愈初曲に愈計報告、十一年度算 定規総食開催の打合せ、十年度

兩切黛が増加 百九十五萬圓が

法製

.馬有

潜伏結核、淋巴腺腫、 を は あて 発病像防、 機質 を計 は あて 発病像防、 機質 を計 を は あて を が に は の に は の に は の に は の に は の に は あ と ま 接 和 を お る を お る を お る を お る を お る を は の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に に の に の に の に に の に の に の に に の に に の に に の に に に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に る に 。 。

一年で煙になる

山青

A〇の診斷的應用

西丁香港は近十十十三年から

評議員會 日午後11時から、城基面工 1種書 まる六

0

記言

72 E

AOの豫防的應用

元山で大盛況

は戦量の如く大河内郡守の制停で

| 「規律】|| は、経典には、対し、経典に、対し、対象を入政費に、八十 で適の関係と語の関係を行く のだ前産等 -- 常局の総積総市方 | 玄利用書籍・|| なが、作字は開野 | 吉村・花台に | 泊、石田のの像足 ・ 現律】|| は、経出版・フシュが産 | 納入の観察物神向上に伴つてこれ | 課の併構整形神を夢問、七日朝経 ・ 日朝の併構整形神を夢問、七日朝経

内金剛繁榮

|成異]第一區推船底曳網巡業水 漁獲競爭 の木炭に對して猛烈な境論が提出ころで解決困難だから返送した。 質、價格とも著しく向上した威用こんな品を食用に限んで置いたと

大きな痛手

礼主は「成中線を組る数」で紹介 江原道の霜

## 當局の苦し

くして「郷那門は指定無活物でな」

北鮮日々と本社支局主催で 會寧を語

なく結水工事に支職あるところに「は本府の認可を要し名勝古書限存」置=中止中の翻訳門) いから本前の説可を要するものでとも遺跡と思むべきものに動して、然へ気をヤキモキさしてあるへ為 し所営局は自己の手綱の粗調をか一止命令を否定総明してある。しか一あるので所では自下戦可申請中で

南東高では各方面の歴史に総か十、各方面の名士、有力器等が続四十一日午後一時から邑事物所郷上で、呂田脇すの野でその成果を期待で、同年後一時から邑事が所郷上で、名方面の名士、有力器等が続四十一日年後一時の 「電車」北鮮日々及び京城日根の一個することになったが當日は在職一の生活にも単独く生山曳の乏し あす座談會を開 家部に望を処つた観索の果てと物「再要を政策を困ぎ、原理地についても日夜」で脳神した結果左の通り實行方法を指に望を処づた選派の果てと物「再要を政策を困ぎ、原理地については、

例作业の民族資金を記されている。

提準一郡では去る四日午前九時

による

大 で域から七日 世上日曜任 開入他任 関外他任 雄差者)六日腦 雕修長 七日茂 隊長 六日酢解 馬台公費校 七十戌 十餘增 郵麥代用町的金銭料不製 代前 ○特價 壹圓 100 特價 壹圓 松園 七寸時朝題

酮









閣下野難 井上

許特賣專蘭愛 加.米 英 日 ""刘士博學醫三繩。

店

ものはAOを以て唯一とする。 て歐米諸國に輸入認可を有する で歐米諸國に輸入認可を有する で歐米諸國に輸入認可を有する は世界廿五ケ國に於で使用

氏を駐屯せしめたが、當時小宮山 **連き司令信に工民少佐小宮山昌等** 

手續の粗漏を押しかくす 平壌府廰の大醜態

し本府としては指定建造物でなく」あるが未だ認可に至らず観光期を

同工事に設定人自南縣、白南清 あり有望である り新来五倍まで撮影し得る可能性 然類に若手し郷くとも七月から操一官を残へてゐる。即で異年確派は 部院近十歳は四月中に金剛から | 要百萬圓であつて、微様期何によ 手間取り解氷と病時にいよいよ 思みの種穀

長津農振委員會で 配給の方法を定む 概

レッチャーは三日から本程的な操一般異」、威密級造部瞬間の朝鮮下 開館衛コール・アラン氏が埋空屋森と開始した。何しろ朝鮮護業の い先月末も許可手腕の項目が三十萬回と推断した大砂金銭両で 、七日城神省、 世 便利な容器 新しい販売

長の強品出席の 最後の一滴まで MERK! 3オンス入 ₹,30 医螺旋大爪器二



+

かも自力及は確保相助により数済。貧敗は孤烈質が觀察してゐるが、「內」地法院の第一歌鬼握ひ仲散はるがその絶論は疎気も消以上でし、激計五十三ヶ所で、假石地元加入」とみてゐる、昨年京城獲無法能賣数を並く配給することになってゐ。れてゐる正版通内の季節部見所は「法院の敬量要異は當然だ」 【唇川】既可如人のために設けら 法院の設置要望は青然だっても地理的にみても地理的にみても地理的にみても地理的に

の態度は選年事性の増加を示しつ

あぶれた失業者も敷はれる 新會社の準備進

このる人組工場を新光磁物工場を 同工場使用の職工は約二百名(上 の方の領痛も看々進められてる。上上日子がたの景度、富国の株式組織になる皆で、そ一道に在証○○部庭復正政治が集四氏で資本金五十一長に薨轉した吉拉佐正政治が集四氏で資本金五十一長に薨轉した吉拉佐正政治が集

らべき進度のみられなかつた観角

上手間取り解水と開時にいよいよ | 構なことであると所でも何かと便か、下温器和の地ならしに部外 | 不派で契遣書談田の近親非常に結

の出現は非常な期待のうちにある。として女工)であつて、精米工場

十一長に愛博した岩片清徹氏の波切會と、加工程を行うなの物理をよる別国として著任し、 科学大一等で開催、出席諸古六十一 群名大士岩行氏の波別姿態をある国と 様名なほ岩行氏の波別姿態を充且 上、酸名なほ岩行氏の波別姿態を充且

む

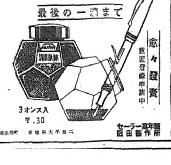
興 屋無法院協致問題に顕しては威

日付七七、七六四國▲福切一、八国で三萬五千曜の紀、刻の王帝 二十二、五八一四▲劉六五一、 八八國《移入二、六二四國 三十二國に上つてゐるが、これは 権入二、六二四國 五萬国の戦少と

> 各號作射 水豆用 一管及五管人 發質元 元須美商大監視

織物工場の出現

范浦の 砂金探取



扱三回以上の問品に對しては鎮海

らかな幕開き

慶北も今年は工事の當り年

影腊を左手により影集することに 一統邑支局では東海、馬山の職場 ました機はいよりく開花を含ぎ 「城ず」器間に務はれて雷をふく

園城一郎では福作に力酷を入れ

ゐるが今年度の作有反前二十年~改善の指導質跡を加へ在記事項の一

体營支局で **盟員を募る** 

固城の棉作

本作即の地域へ終わの欧洲本間 は作の全級へ制作業の適別以取 は作の全級へ制作業の適別以取 を必ず常本数の地加、基制作業 等 を一が常本数の地加、基制作業

成績能で概化理像計畫の目標受當一に目標を置き積極的場所を計るこ

一十九行に過ぎず之を光迎地の一十行とし共和版智語を自五十萬斤

に全力を原理してこの収量を自力

道廳移轉とともに市區改正

、合院その他を選信し整備する

百七十六町収録編一百七十七八八一成業實行によって反當し計の増加

四、需要幾千九百四、調查数千

たどの案内で各方面の問題調査を

于七百九十七元即も反常敗他四か

給仕の志願洪水

寄附金募集

道立醫院の

【演導】髙女校の設立は久しきに、鮮有志を網羅し近く寛行に移るこ。播館前後の指導、播館の實施場 **坦高女校設立** 

年中に實現を期すべく

發起人會の陣固

食社馬山支店の多類新築は女學校「馬山」既報、像で記載中の国和 行備んでみたが、最近真電では道 が相互の主張に相當開きあるため 地に選定し所當局と抗動中、地質茶屑含西側所有地交地四千坪を数。 肥地を更に選定中である 立馬山帯院別立の道路側を希望し 宣る居民の整であつたが態と本年とになった、なほ女學校設立の贈 | に分けて播催的善を似版をしめ関

二十隻新造

を批戦し他の復興は連日部内の内とする、は内地人人、鮮人四の割合で我数に埋産を帰するといなり、潘棚御民とに七日の都起人館で決定、期とする象形であるが東部観覧をしては道戦部を影響なして各部へ出機が最大には道戦部を増削或して各部へ出機が最大には道戦部を増削或して各部へ出機が最大に、建設せしめることとなり、潘棚御に対して議座戦争との議会に対して議座戦争との議会に対して議会を指するとから優良品観を中貴城を押して議座戦争との

印刷工

周辺はそのキーム)

【馬山】中祭校期成留では八日に

昨年に比し三千町歩省、棚子量は 委員會開く 窓附募集の 窓附募集の である

[仁川] 八日华後玉海四十分府內 大怪

石垣が崩る

日刷所内に石が解げ込みは刷機の の石垣が約九坪崩壊、垣下の時和旭里一八二州東和方の盛さ十四尺 この外原間で立樹が倒れた所

语州郡是製絲 國旗台を建設

南州 郡是製絲工場では回路開

ては正有力情多数を聞いて盛大な る二十九日の天長節の住威を下し 間を解出、目下上事中であるが来 下腹は、女工、婦人等が合計約二百 郊設することになり池別丁塩長以金流茶の一端として網維塩機能を

調解期増減を懸行するとになった 魚醬油の製造

本語 ・ 生活の組織化を開することに ・ まで 【美山】道水産试職場では道内沿

スケジュル決定

▲二十五日直轍、水上、下仁川ため左記日程に變更された 日牛角、花平、萬石派出所管內外里、花町派出所管內△二十七

四日全鮮選手權大會 4 六月二十交雕定期賦(於後山) 4 六月十

層八會▲四月二十六日大日配学

府廳舎の落成祝賀をかねて 擴張な祝

大人日午 し流大な記録郵鑑賞を属すことに 野田一時火気町近野鑑賞を属すことに 野鼠・町島代町一千二百名を招待・職行の間定である。 大田中で 野鼠・町島代町一千二百名を招待・職行の間定である。

上市町既良の急務なるを施感し先 **一般医療に偏へ更に大清州弥散上** 

【清州】臼當局では急激な市町の

長谷氏に落札

. 馬山】 所では博多大座監督朝鮮 【祖次ぎ電湖の成職が暴らないので「つた 此所所、法院合論制度活等の寄附 を記頭に女學校、小學校、神社中であるが、新蔵男山中學學業

**临**岡築港博

資物ラサジュに到地すべく高 不是無」既戰——大音山縣 永登浦驛貨物 ホーム完成

は粧化御の著

素肌からい温酸

いませ

\* \* \* \*

價格一道では四面税制整理点手

党で松島内後部長統成の下に那馬 を制に六日午前九時から清州公園 言質を開催、金知事の訓示後指 内務州係主任及び事が設任者

> お肌の顕著が急に強て参ります。處が季吹か 成々と暑くなるに能ひ一般の好みが個くあつ

次第に濃くなり、

一次世帯や場他へみか等しり、暗山の方はギラ ( )と

へて続りますと、人の皮膚もそ かはまして想ての草木が熱剤と

が繰ります。唯へばショのある

誤りで御座いまして丁度訪問者をお召しにな らない方が新い棚で御響います、脈は大魔なれに附糸照脈にはそれ棚の瞬夜をお得ちにな

睡し上げたい事は個噺人方は大

らなければなりません。

御社篇をお掘ひになりますがそ

は我つて手間に行へる事で即座います・ 手幣も左に御紹介する英肌法をお採りになれ 

の御手人が最も必要となり顕常なさる概になります。新儀な解 心臓となるお腹の鳥い方や腹い方が軟弧されて切ります、ですか

ていく解が大切で、この部れ郷な郷野への御でなっています。との部れ郷な郷野に一座姫は城で郷でなって、この部れ郷野昭昭を輝しいなっています。この語れ郷な郷野に一座姫は城で郷したの御事入れをなざらなければなりません、

が歌題されて歌ります。 を数が明になりますので倒化社

が常に目立つて振りますので特に動脈にもだれた観ぎ、或は洋脈でもお召しになると蹈筋

して出來ません、殊に最かられ羽織やショー 機定が綺麗でなければ魅力のある側で挑は決 って平常のお機物をお履きなつてゐるのと響

排作のおたしなみが極なしになります。

釜山無盡

取締役會長

小型は聖器時代から世が悪くて「歳、氣煙のせいか顕色が大概にく

想外の美白さに

脚へ脚跳交換します。 (優勝) も求められますが、電話は直旋費 す、この近くの寒度や心臓磁度で も要用させて聞く取りでございま

の色黑が

質性では五月九日削立説師を明く 長は大池源二氏に内定せる機様で 立された西本金百萬四の釜山無益 ことに決定したが問題の取締役會 「金山」過酸無端統副の方針で開

ある 講演と映画會 世書作の締めた英雄です。

質明低、日割は次の通り援で南鮮地方各地で勝河及び映高 めかれて基金野集中、今艘本所得 一笠保存首では『一笠』保存の

川の大掃除

名 九日馬山(十二日まで澗在

「いっという」というでは、
 「いっという」というには、
 「いっという」というでは、
 「いっとい

校長) 同上 田立城氏 (新大邱南旭町公路

文下さい。

点は使用大粒金三八搭機實元へ御註



とみられてゐる。而して提示金百

型者か就外に多いので翻版他に介 後年年買行し海流船を継承する 万針で批选をするめてゐるが、布

は従来、四月廿五日30であつたが、に至った、五月上30番種世しめ 「月別」道内における様に番組財」週間乃至十日間選種のやむなき 天候祟る 一週間以上も遅延

忠北改良指導督勵

|今年は点温地下に過され例年より、ること、なつてあるが本年は特に||触線銀沢の他につき打合せたお食子。四月刊五日のであつたが。におつた、五月上東縣播職せしめ。後二時から静謐で委員である場合。

**一街地計畫調查** 

萬圓を計上專任技術員を置く 山岡本府技師⇒實情視察

大部川競談に向づて巡邏すべく中。返省に乗り出すことゝたったが、「搬談記法にも駆験する重要創金で「園で寄札した、新歌館路は下水港に大部町の地計選を選続し海承の」し、双門の技術説を採用して本院館、野に市館はかりでたく行戦に戦大。の長谷霊光彫氏に二千四百四十七(大郎)都市総設令に基づき居で「九百五十組、難費自四組」を記二。たすところあつた同復觚の創金は「総工事を入札に附したところ満備」

11 低級、西藤組製をは八日

(で露城内壁に多大の効果を動する。たれ、当り自奏を含むも考虑こ場である岩湖の姿に終つた、跳びが後、に近するため作年米射覚中であつなる岩湖の姿に終つた、跳びが後、に近するため作年米射覚中であつなる岩湖の姿に終った。 第二章の道可決生、十二部落の自給自足後氏電弧関連には何等勝れず、既 【楽山】道水産英配場では道内街 声を埋めるには至らな!

後輪亭 「うろこ」で配されたが、

のとも思ばれず、また遊戲間に流

迎贈の移跡演築に伴ふ市街地の<br />
整一合前通りを直線に延長して<br />
飛幕所

大邱體協庭球部 の夢樂し

會▲五寸廿四日春季即签兩都市日府尹盃爭率女子大邱選挙權大終人或老風選手權大會▲五月九

何等かの清州昌都市部徴案が具理無合して更に硏究を重ね、いづれ

質我も愈よその曙光が現れて來た

のと見られてゐる、尚ほ器宮夜

部が延に於て先づ相何町の街路新無事通過したが、八日午期、道廊

十餘の市民が緊急してゐた大浩州 化して來るものと期待され。一萬一

て 高級を振して登班すべく本年度 出 報明通り道路を東に延長し新記道

肥料その他を融祭した即は八日農州に向ひ前西の上水道

街路新工事

年度のスケジュールを左記の通り |夜四部町で常世を比喩を聞き十一

十八日盛大に擧行

た、若し當日雨天の際は公園堂で

要数は、洛東江砂砂工事の約二百 におけてある 要数は、洛東江砂砂工事の約二百 におけてある。 所 人名りの日納を八・銭として二百 中台町一郎第の後を襲い端望面で、年にない別らかな機能である。所 人名りの日納を六・銭として二百 中台町三郎第の後を襲い端望面で、年にない別らかな機能である。所 人名りの日納を六・銭として二百 中台町三郎第の後を襲い端望面で、年にない別らかな機能である。所 人名りの日納を六・銭として二百 中台町三郎第の後を襲い端望面で、10月間、道路を行え、10月間、道路を指述して、大上式「投路を写る」 (10月間、道路を指述して、大上式「投路を写る」 (10月間、道路を指述して、大上式「投路を行る」 (10月間、道路を指述して、大上式・投路を行る) (10月間、道路を指述して、大上式・投路を行る) (10月間、道路を指述して、10月間、道路を指述して、10月間では、10月間では、10

まつ所内では総合グラウ

馬山」中型夜の人製式は十二 前十時から西迪恩校議堂で銀行

近日におおようが最近には「計画」と「年所質人夫ル七気人と加いるとな」(上では「東京の職工により管験は「全の地国八十一萬七千歳人を加い」(1777年、忠北道整義節で施行した。「東京の職工により管験は「一 月末、忠北道整義節で施行した「東の職工により管験は「一月末、忠北道整義節で施行した」

**労銀の|雨三百萬圓突破** 



全鮮教育者大會

「教育者大僧を明山で開催すべく」最が教践する論で教館都市として、周山」道教討論では来る十月全、全すれば鮮から干五百餘名の教養 と他のてあるが、これが實現。自他共に許す馬山としては大々的。保政を面唱らはせた

慶南當局案を練る 名採用したが臓解剤は二十五名で 【清解】道鑑では八日午後胎化二

世で二萬能名により、この中就職、も今年に入つて入事した結は五千、悪疫治論でも相當販売されるもの「馬山郷軍打合合自工・産人群した中境人は総と苦力」の参東に達してある、なほこのう。十一、二の爾日間かれる全計高等にある。「川紫萸の支給」を設け、今年三月で「から俄り受けた、総政などの事由」と励機の適毘を転し、半點の労働、入部を破析する一方法も考定された苦力の上たのは、一昨年九月、今年三月で「から俄り受けた、総政などの事由」と励機の適毘を転し、半點の労働、入部を破析する一方法も考定された苦力の上たのは、一中年九月、今年三月で「から俄り受けた、総政などの事由」と励機の適毘を転し、半點の労働、入部を破析する一方法も考定されての。 便船毎に續々ご入來 身許不確實で上陸禁止も多い 仁川署取締に大苦心

【『七】馬山在那軍人分間では八

【筆山】道では、良漁船の明及と

は漁獲物の収入によって低却する 小資本漁業者を保護するため民生 那署に對し十一年度に於いて三十

災の撤船を新造して債的、建造数

馬山の縣人

。人名根關 で関校の

達の

か

殖

公





學期開 容 大刷





醫學博士 宫村喜作先生發見

Prunus屬植物の有效成分製剤にして、不快の味なく、 胃障碍その他何等忌むべき、若くは危險なる副作用を 伴はす。應用上極めて安全なる點に於て異常の好評を 博し下記諸症に盛に愛用せられついあり。

廖厳並に喀廢を伴ふ急性及慢性の 呼吸器疾患並に百日咳…

颠·鲥 三 共 株 式 會 社



消毒、制臭、殺菌力强大、最後の一滴に至るまで

完全にその效力を保有す オキシフル以外にオキシフルなし 模倣品あり、御買上の節はオキシフル及び

三共株式會社名義に御注意願ひます 一瓶100瓦入 500瓦入旅行等に携 帶主便なる錠剤(50能入)もあり

東京・室町 三共株式會社

よで出家辯権

或

こと日

### 服内ドイロ

(許特法製)

安全 …… 治効卓越せる

化學研 京都帝 究所

記述文献 記憶學博士·片山裝 記憶學博士·片山裝 献進 呈

東京市前田を報答的大連(押日藤順常平道) 東京市前田を報答的大連(押日藤順常平道) 東京市前田を報答的大連(押日藤順常平道)

楽無し

求めの節は京都常國大學化學研究所領党パロールと無指領外でふ。本籍は隣特の根オルガノゾル四増油なれば幾対他に類品なし、お買本館は隣特の根オルガノゾル四増油なれば幾対他に類品なし、お買

資す直接性交は左配へ高替摘者又は代明にご能立さ生急をす

・ は全國各地有名典周華店並にデバート要品部に販 價 料 贫 藥 滿 内地 十五鏡

銀オルガノゾル白檀油

創製

熨 大 學

.

民衆の危機に身を挺して庇ふ

熙殊る語物が

レボー呼吸器に比し蚊が使弱なる | 佐る休止の場合も谷景に寂り暮らしば外沢に唯一のドイフ談話器・ド 悪に吹る休止の場合も、彫ガスに日本信果祭に「大面躺を無くる氏」あった、この人に呼吸器はき比別

九州靈地巡り

器(自加蘇生器)の説明が成け、

田秀馬氏が、一原年間際近を忘れ

特許局に對し特許申請中の處、こ

「正直少年」京城而陷人石迹的

理想的監督器となったので、

合格原理行第二職陳附一等軍器移の實證を押し更に引根き改良に密 「各務原電話」版単衡成例影响等一下に加製作品の質点を公開、多次一

昨年四月間単省景が局長立動の性能を有すること説明されたので

獨山駐在所員四勇士犧牲的佳

路暦日に難し用献金見郷金をそれ

頭洲の視察を終へてこれからサク

豪勢な視察團

さく夜入城けふ見物

衛型加を廻つて熊本に出て、窓島

問題に賑ふ回多に先づ一泊して長

八日午別十時五十分京成出郷、惣巡邏総邦をすることになつた、十 温機製剤をすることになった、 を迎へて髄質を掘り、九州発地の京城妙心寺では番の旅行シーズン

ラ日本の観光へ――何でも一等づ

一種内地に向いませである。

婦人の申込も必要ある

けふの天氣

が大林月専門楽画

に問かせて見物、十一日午後三時

がら那部万闘、規則に居合せた百 得たという国路監御史上報館すべ

肝と延過し、弱と全種に許 量解名の良民の人命をよく数でし

ぞみ』で開始側、早大師総館銀5

せず国洲を議題した勢を辿つて病 試合機想 長頭の疲れもみ

され、繭洲連勝の静勢をかつて元

けふのスポーツ

い、果生ディスの動戦だけにゲースは 受頭から物後い肉球戦を飛射する。 だろう、野上、坂耳、川連等もの 下るか、智原の巧みなフットの、 下るか、智原の巧みなフットの、 かがどこまで早次を苦しめるか、

世界に

4一行計七名は本龍助教授に引奉。ウオーミングアラブを行つた

1 5 大き、『養子・ノンで・財、」この極意を整映せんと協切るよの別意野職に備へる最め底の数。 鮮をも所服せんと意識込む日

ふ 普專軍と試合

れもみせず京城グラウンドで幅い

万は南より電船外れの雪となり駅。の切断無数で立席の倒れ落ちるも、より業と纏つて降り横いた。 一下山電船 八日夕利より元出地 | に降りつくあり、電線、アンナナ等 なす卵大艦ぎであるが、質け

のも多く、送電線路は選になるも

京元線も生害 列車遅れる

防費に献金

板倒れ工場休止の狀態

中九日午司六時四十分時與預別近 協職はすでに約一尺の積雪を見た

れが高め羅邦藤良城行為行は途

毎週日を決めて清潔消毒蠅取り

鐘を鳴らして塵芥を集める

街

たので三十分立住出した。他行中世紀が一般的上に同談して

江陵の雪

各町語代書を向署博士で開催、明一めて建る事に決定した、外毎月第一なつた

同番前部京城府 月曜日を消ぎテーとして家屋の内

月曜日を消滅デーと定め、第二

慎雪九十 霙また降る

在り九日朝の確認甘七センチ、な「妖態にて市内ではランプの用意を「京元線鑑賞し北は八日夜來吹雪」

**医弾ワセダ**の強剛

して摩寵駿回に及び時は暗肌と「復讐の見込みなく」「環は休止の

過去三年間

【東京電話】去月廿九日來朝以來

**呆城保導聯盟今後の方針** 

ラツール伯

たい』と名残りを指みつく別れを口生再び東京で提手する機能を得 して影響の接張を述べ、一ル四

警告、威化徹底したの

よ善導主義

放送的社をマネージャとし確康、遺伝の人選中であつたが、類母木 の我が選手の活躍振りを直接貿易 十一回國際オリンピック大震出場

物は九日午前九時開起、赤野遊氏 第自二回 【東京電話】 帝人事性第三三回公 帝人事件公判

山本君が渡歐

を生じ近年幕の確認、火田民のた 腱間の道信不通、固丙主軍官故跡 氏は前回に引催いて摩伽の内容を

総合職の朝酷を提携し、黒川氏に對してはその謎 と新じ更に暫定人落谷氏の所配に これは結局体が分らんことを率

同十一時時頃・裁判長は水野穴のに過ぎぬと懐論し同十時半体症・概しては見蔵に等しき数字の羅列

十一日に歸城

がの題

及 是 **酒井** 

電話本局(200)八番

ŀ

七酒 島井病

赤-道郎院

阿呆な魔除け

具店

大人店! 大人五地門 大九地門 東面部

はい

書

梅毒栗 別八円 特六円 総信報 別八円 初四円

子一里生品

十九月日(金)

開催

単一のこと 自動性に手び する

刺製銀松岩田省

るれ売らかく効く効らかい良

命は

少年光鉢僧が島の緒のおれをもつ ていあなたの家はどうも思述がに

朝鮮競馬人會於京城東大門外競馬場 大會

設特婦<sub>逊皮</sub>性 内人婦病 科科<sup>科科</sup>科

院醫野宇 ~谢疑的。"

**浮氣女房放火** 

慣の半額 京城雑誌會 京城雑誌會

京城青葉町二の一九文昌一さんの 制力ルケ SHOE

五味地が出来ま

近くの原子店・食料品店におり

特的店寨集 状態器

<sup>本質質</sup>質型 花柳病專門

いて晋内各館尿者に寄仕する事に

江面割将里の放場に配り、去る

明快日

<u>本</u>! 

W

同英田伝 作語 すば時日

E

XX 京日案内

七十日に及び出き歌き除削あり。七を行い、先づ細路。二丁目に国、として開版の萬金を開する事になり

人供樂部)東水犀町(蝎風雪部) 院町 (朝陽空院) 西氷犀町 (老

京城自轉車商工組合主催

優勝者には府尹カツブ贈呈

「軍部及前城府市の助力も得て」は、前の総談と共に必ずや臨刑を 九日から種痘

た時感熱に於ける佼賞の吹魔で娘「自興巫鹿本大衛を五月二日に城行」気する事と、阿琳を見て一般に前、推では念地に駆けて九日から福祉が東自興王成「組合は本年二月の「只て軍事及唐城歴书の助力を得て」第一節の治蔵と共に必ずや臨稅を「名ってこして首重者なお旨」と言 し、その利益金の企事を関防費と「得されて貼る、簡選手の申込は第一を開始したが十日は年期十時から 然のべき天然府蔓延の傾向に京城

つまっ 自動目でもあり、また組合 で貼る (単大線)第三期(間十三線)のまっ自動目でもあり、また組合 で貼る (サールの)第三項(東京の単語で動作するして戦時で、今度の種類は第一項(東京の単語で動作するして戦時で、今度の種類は第一項(東京の単語で動作する)と、その判論金の全部を図り置と 賞さまて担て 信用してしました 年度はよりました (単大線)第三期(間十三線)の第三日間目でもあり、また組合 で貼る

YMOA電話會

坐補后地前

研究社通信學部 **米京麴町 區富士見町五** 

醫 每月壹圓!! 放态是杰迪里

工學をに

外が耐します。

20 30 50 1.00 全國英店 コアリ

作。本 古田郡消丸 剪鮓一手坡翼 京城地町三丁目地 湯郎(電本二七九七書) 別等與

店に自員の選手では選手を開きません。

ABCho 十五ヶ月卒業!!

会演に書きな高速に関判率れ! を選に書きな高速に関判率れ! を選が続う。 を記が続う。 を引き、 を記が表する。 を記が表する。 を記が表する。 を記が表する。 を記が表する。 を記が表する。 を記が表する。 を記がまる。 を記がまる。 を記がまる。 を記がまる。 を記述さる。 を言述さる。 を言述さる。 を言述さる。 を言述さる。 を言述さる。 を言述さる。 を言述さる。 を言述さる。 を言述さる。 を言述さる。

(118)

るということを、名刺に書いて置 いて能つたのです。

同四時 五分 ラグビー試合質況

辛氣ぶし ハ、四季 局縣沿限郡山南村有志

同三時四〇分(東)架象通報

歴次は張返つた。それは売知ら

TEI教さん、今日は塵な日ですわ 如子なくニコーへと笑つてみた。 でなく、騒西人らしいやはらかみ 併し言葉が、東京人のやらな話音 たので、一度はかうがへてみたっ 世次は相手の態度があまり温度

同六時 10分(東)コドモの新聞三、兒童劇」おどぎの手箱五年新田治子

一・一部合唱 てデ

一の腹。小町 の腹節と者こなし方崎縣下縣郡久田村育志 同二時(大)婦人の賠

**耐熱病の綜合防除** 関大時二五分(札)農家の採開

同一〇時ニュース(張鮮語・谷 同七時五〇分

ニユース、天氣見込、職

座講庭家

婦人ど子供のための築養

榮養と調理

すが、おやどうかしたのでせる。 一弦のテーブルの上に置いたので

壁次は仇敵に對するが如く、 龍を織っ欧洲和阿海軍の狀況同七時三〇分(東)勝寅・軍綱命

電上から一番大切な たり肥えたりするはのこ

門八陸三五分(東) 東朝前 三、即興舶・變戸長調

一放 送

**『だけど、此の方はお名削を仰雲** 「(エ、髪な偏執狂に見込まれた

いや、昨日お聞いしたのですが、 あなたが膨つてあられるものです

誰れだつて?」

5		幸	季	-		
Œ	王			=		٠
		47		Ξ		
F			4	124	【拼刷】	
-	.,		步	H	制	
Taring,				六	▽海	
F	<b>K</b>	步		Ł	▽帝四氏	******
R	Ŧ	6.3		1		
}		桂	稥	ħ.	飛香步出	***
		5			217	4
E,	XX	Ŀ	1	七七馬		
Ř.	八二馬					
		(88) (2)		16		
		ন্ত	- 1	7		

(15 30分 懸命の陣立

(15分)

側は九一同角成迄の局面 香 落 会設石窟 쨦 鉄

えい、どのなりと、貴女のいい いくんですよ。そんな、どこの 此の前の花と取り替へ 五局

全目をやるかられ。 ちゃナみませ ルが高ひましたわら 古可習美さんからだと、花屋さ 智美もやんの奴、時々あんな .....は . は . 二流争弱血

から訳き返した。

観光は人違ひをしてゐると思う

| 生界品(五) | 場で | 一生前七時一分(京)領の修産 日番 金曜日 組

見童劇

おとぎの手箱

南山小學校兒童

め此の大切な時代の幼児の整合が

以財務

ことが出来るのも成長期に銀い

の投后によつて決定せられます。

一生の健康も大體この時期の食物。時代、即ちお母さんのお腹に居る

株本郎 山 鯔 剛 出 おとぎの手鞭の中にあるおと 会太郎 活力 学 但 ぎの人形は、どれもこれも太 告知 紙 海 安 和 郡さんの火事な人形です。 破 化炭源 平 井 道 魔 る彼の事その人形が手棚の中 花炭源 平 井 道 魔 る彼の事その人形が手棚の中 に 大郎さん 山下 稚已 から抜け出しておとぎの顔を から抜け出しておとぎの顔を から抜け出しておとぎの顔を から抜け出しておとぎの顔を から抜け出しておとぎの顔を しいます から抜け出しておとぎの顔を しいます から抜け出しておとぎの顔を しいます から抜け出しておとぎの顔を しいます から抜け出している。

づ領人達の食物を改

此處で御費の通り八八飛と打つな話 \*\*・でまやかけた協震議びの販法だなかく、味な手を指したものでなかく、味な手を指したものでい、不当人もれた家してか、十当分に、職権に、細い枝巧、息もつげない。 いった。問題もまるで打つちやらか いものです、それに、間色の改良と 1段間を作る危物を眠へませら、

★ 場、同金、六五程と跳ねられ割っ 大馬と進まれて四六程打もの先が す。生する、其の勝五に線と上れば間 大馬と進まれて四六程打もの先が は、同金、六五程と跳れられば五 遊べよう しにしてあります。今日の私の話

家庭と法律 婦人の時間「時 生れた子供の籍

評

東訪丸 東 東 瀬 瀬 石

月月 続月月

ねて見たが、下額骨骨折の食に柔い順身 ○ 大 任日午後十一時出典 京 大 便日午後十一時出典 同 多 九 作月四日九日十四日 同 多 九 作月四日九日十四日 可 8 九 作月四日九日十四日 で 8 九 作月四日九日十四日 で 9 九 作月四日九日十四日

易二郎

仁川 出帆

散機の形が観測を込めて持へて見れた水

有関歌外 "金玉仙

高六時(大)吹奏樂、桃谷演奏所 男欠り号 ことに 本谷 子離 常明し変に内線の大解説館にある 質の如何を説きての機関に推正即

丁度常夜は私が香味として宿食に東に

何でせう。だるくて開けなかつた腹が脚

コップに一杯飲みました。所がこれはか

家門は繰りの不思議に、知つて心腔政策して一杯のみました暗経く記述にありました。とは歌いる記録になりました。

多島

癒し元 疲勞を 私の職限してあます學校の容前会に

子に編し一条削立の手段さを説明 のと、私自身も無を食し

な難なり、機

四月十六日 第5届、湖水

単や思上ることは出来 翻載し、簡かし日の間に 翻御物も食へず、際に就 下痢と胸明と腹痛とに

四月十四日 く職の勢を落しました。それでも早

本

百月十四往復 能夠最新排歐時出到 延冲器臨時出到

力州郵船林式會武出 机 贸 告 電話代表番號一〇四番

帯電が、頭部解像といる重像で大院した 響だがだ人は若い自衣の女だ。子供もる は似死の妖態で、二十三日は半意識の状 と書いてある。記憶を辿つても踏切の所 外科環長の診断書を見ると、成代三日

日見だ。足はヒヨロつく。一・二の総方 話が一寸込み入つて來ると頭がポーツ 趣味したのが八月の二十一日。百〇九



にも着した現在の健康をかち

るが、映画

その思想の

きとが分を際になった。 概をはて際に少なくなつでき

であるといい の被答が海 いの上候券が急速に検収する

数型が確

品店でお早くお 有名楽店、食料 有名楽店、食料

れ上召ヒゼは方なんこ

▲神經整覇・老妻の人

●離乳期・乳不足の小兒 6消化器の弱い人

監接機の人 (報育不良の小児) ■限勝質の人

វីបន្តាំពីម៉ូន៉ូ

というのはお藤

▲産職産後の人

りでなく、旨いといふ味がついて來る。 移し何信かの湯を入れて飲むと甘いばか まらばへ持つてゆくとはいく。茶碗に



何といっても 「いついる」に

事が時を放射

に出すこと

でもやつて



版章『育鬼相談』 『音鬼相談』 のお

總代理店。東京大阪 Ŧ

Øii

£ 8

大日本雄辯會繼膝社商學部

脏**藏元。**東京小石川

代進星しますの



の夜の

出

來

ごと

にし

葉 ήį

大

西

春

かった音

हिंह

0

虚弱病

て、生る十一日意の中海患者疑生致し、

非常に必要を擦しました

数別者五十名の手書に

策其他 (東) 時事解說

ず、限を開いてゐることさへ出来す、

けられるばかりに記録づきました。今に

かでおい数へることは出来も確ちに数へることは出来も

私の生産には私が快店中で

の機能

翌日は郷を食べ、近日目には登校派しま ることがスケがりました。 してるました。戦しその心脈は無駄であ

質量に輝く機器にたしたい

行する次館 歌文を楽し 歌様に効果 でした

が、一関平額です。

は如何か、御観の社なら如何とに思じつ 快して、學校へも出たいばかりに、意識

短領を激し、床についてあました。 へ、不嫌を思すといる際にて、官に会く 所が苦しい時の神助けとでも申しませ

第三日目の限です。 ふと言といる がついてゆくその様とつくりです。 感じたことはありません。「腹水のき

腹が痛んで下痢をするかと少々不安でし それどころでなく、スケ製糊さへ見る この時ばかり『動き目の素晴らしい』

が極の山脉ふみ手さん が極の山脉ふみ手さん が飲めますね』といふ ので、一杯献しに進華 かさと、若い防か頻る おといいのでピック明る おいしいのでピック明る おいしいのでピック明る おいしいのでピック明る おいしいのでピック明る



い純粋 トテモ 美味し

+







を養ふ

氣精力



許特賣專 料養滋の

弱體質 を强健